

大津管弦楽団第 139 回定期演奏会にかかる公開練習

大津管弦楽団第 139 回定期演奏会として、以下を予定している。

日時：令和 3 年 5 月 30 日(日) 会場：大津市民会館大ホール

指揮：山川すみ男

曲目：フンパーディンク／「ヘンゼルとグレーテル」序曲

ワーグナー／ジークフリート牧歌

ベートーヴェン／交響曲第 1 番

新型コロナウイルス対応として、演奏会は 1 時間程度で、休憩なし、となるようプログラムを策定した。ロビーコンサートは見送る。アンコールも用意しない。席数は定員 1200 名の半分とする。有事の際の連絡先を担保するため、販売は団員の手売りのみとし、当日券は用意しない。

今回、新型コロナウイルス対応を行いながら、オーケストラ活動をどのように行えばいいのか、情報を共有すべく、大津管弦楽団第 139 回定期演奏会にかかる練習を公開した。

練習は、浜大津スカイプラザで、毎週金曜日 19:00-21:30 行った。申請時、活動期間は 12 月～1 月を予定していたが、11 月～12 月に前倒しした。

〔体温測定〕

37.5℃以上の発熱がある場合は参加しないこととした。練習室の入口に非接触式体温計を設置した。予備の非接触式体温計も用意した。

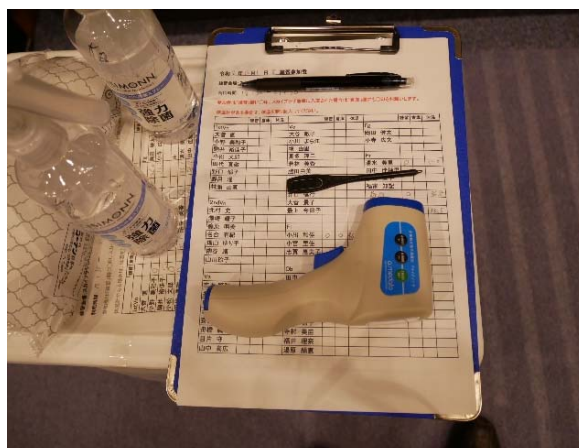
〔記録〕

参加者の記録を取るようにした。記録用紙は、上記の非接触式体温計、下記の予備マスク、消毒用アルコール、清拭用具等と共に、小型のテーブルワゴンに配するようにした。(右図参照)

注意事項は判りやすいようにイラスト入りとし、掲示すると共に、各自に配布した。



記録用紙は、記入者が滞留せぬよう、名簿式として、各自で記名しなくて済むようにし、入場時間を記入するのみとした。(右図参照)



[見学者]

見学者はマスク着用とした。マスクの予備も用意しておいた。

[手指消毒]

会場出入り時は消毒用アルコールで手指消毒を行うこととした。消毒用アルコールは、エレベーターホールに建屋管理者が用意してくれているが、練習室入口に設置した。



[清拭]

パイプ椅子、指揮台等の備品は使用前後に消毒用アルコールを用いて清拭した。消毒用アルコールを吹きかけ、しばらく後に、ペーパータオルやウェスでから拭きした。(左図参照)

弦楽器のニスアルコールで溶けるので、清拭は楽器を片付けてから行うことが肝要である。

アルコールが使えない備品用に、次亜塩素酸水も用意した。

[飛沫対策]

厚生労働省や滋賀県、大津市のガイドラインに加えて、下記の文献を参考とした。

[マスク]

管楽器の吹奏中以外はマスクを着用することとした。マスク非着用状態で会話は行わない。

[人数]

練習場(スカイプラザ浜大津7Fスタジオ1)の定員は121名であるので、半数の61名以下の編成になるよう、プログラムを策定した。

なお、61名以下であれば、後述の間隔は確保可能である。

〔換気〕

建屋には空調設備（換気設備）はあるが、1時間に1度、ドアを開放して換気を行うこととした。

〔ソーシャルディスタンス〕

管楽器は前後左右2mの間隔を空けることとした。弦打楽器は前後1.5m左右1.1mの間隔を空けることとした。

弦楽器の配置の様子を右図に示す

弦楽器は通常1組2人で1本の譜面台を使用するが、1人1本とした。

弦楽器は半円状に配置されるので、左右の間隔を取るほど、半円の径が大きくなり、指揮者から遠く離れることになる。

管楽器の様子を下図に示す。

通常よりかなり閑散となる。

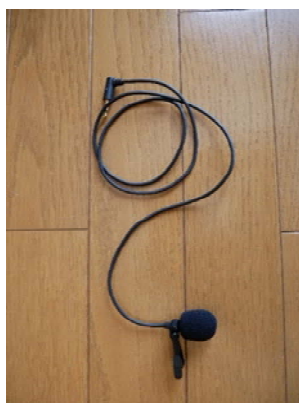


全体練習の様子を下図に示す。



〔指揮者〕

指導者はマスクを着用の上、ワイヤレスハンドフリーマイク（ピンマイク）を使用する。下左図の左側のマイク本体を首にかけ（下左図の右側は充電器）、襟元に下中図のピンマイクを装着する。予備のピンマイクも用意した。団員からの質問用にワイヤレスハンドマイク（下右図）を用意した。



拡声には、右図のスピーカーを用いた。小型ではあるが（60W）、十分声を通り、練習に支障はなかった。



〔所感〕

お互いの距離が遠いことから、音を合わせるのに非常に苦労しているが、演奏会に向けて努力を続けたい。

〔参考文献〕

2020/9/2「吹奏楽の活動及び演奏会等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」（日全日本吹奏楽連盟）

<http://www.ajba.or.jp/guideline.pdf>

2020/08/17「クラシック音楽演奏・鑑賞にともなう飛沫感染リスク検証実験報告書」（クラシック音楽公演運営推進協議会、日本管打・吹奏楽学会）

<http://www.jas-wind.net/pdf>

[/20200817kekkaCOVID-19musiccultureproject.pdf](http://www.jas-wind.net/pdf/20200817kekkaCOVID-19musiccultureproject.pdf)

2020/7/17「音楽の領域における新型コロナウイルス感染のリスク評価 第4版」（フライブルク音楽家医学研究所、フライブルク大学病院、フライブルク音楽大学）

<https://www.mh-freiburg.de/fileadmin/Downloads/Allgemeines>

[/RisikoabschaetzungCoronaMusikSpahnRichter17.7.2020Japanisch.pdf](https://www.mh-freiburg.de/fileadmin/Downloads/Allgemeines/RisikoabschaetzungCoronaMusikSpahnRichter17.7.2020Japanisch.pdf)

2020/06/25「演奏会再開への行程表と指針」（東京都交響楽団）

<https://www.tmso.or.jp/j/wp/wp-content/uploads/2020/07>

[/Guidelines_ver.2.0.pdf](https://www.tmso.or.jp/j/wp/wp-content/uploads/2020/07/Guidelines_ver.2.0.pdf)

2020/06/15「管楽器・教育楽器の飛沫可視化実験」（株式会社ヤマハミュージックジャパン）

https://jp.yamaha.com/products/contents/winds/visualization_experiment/index.html